

## 「情報事業・広報事業に携わる人のための課題解決・実践研修」実施報告書

特定非営利活動法人全国女性会館協議会御中  
下記のとおり、報告いたします。

報告日 2019年 11月 12日

### 1 施設概要

施設名	秋田県中央男女共同参画センター	
代表者名・職名	佐々木 美奈子 (センター長)	
住所	(〒 010-0001 ) 秋田市中通2丁目3-8アトリオン6F	
	電話：018-836-7853	FAX：018-836-7854
担当者名・職名	主担当：谷 直子 (コーディネーター)	
	E-mail：akitawmc@alpha.ocn.ne.jp	
	他の担当者 (主担当以外に関わる方がいる場合) と役割	
	E-mail	

### 2 事業の概要

事業名	男女共同参画センター・女性センターの情報事業・広報事業を再構築する
趣旨、ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 時代・地域のニーズにあった男女共同参画センターの情報事業、広報事業を展開する力をつける。</li> <li>● それぞれのセンターで実施している情報事業を洗い出し (自己評価)、今後の展開の具体策を見出す実践的な研修とする。</li> </ul>
対象者と定員	男女共同参画センター・女性センター等の情報事業、広報事業担当者、行政の男女共同参画担当者、図書館員、男女共同参画の関心のある方など 30 名。
実施日	2019年10月30日(水)、31日(木)
プログラム概要と実参加者数	<p>1 回ごとの内容、講師、時間配分等プログラムの概要</p> <p><b>【1 日目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>オリエンテーション(13:00~13:10)</b> 参加者数：19 名 研修のねらいとプログラムの紹介、参加者紹介等</li> <li>● <b>講義1 (13:10~14:40)</b> 参加者数：20 名 男女共同参画センターにおける情報事業・広報事業の現状と課題 講師/桜井陽子 (特定非営利活動法人全国女性会館協議会 顧問)</li> <li>● <b>ワークショップ1 (14:50~16:30)</b> 参加者数：19 名 ➢ 情報事業・広報事業の棚卸しと事業の一覧とマップ作成 (個人ワーク、グループワーク)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 自センターで実施している情報事業・広報事業の一覧を作成し、その成果を自己評価、現時点の課題を抽出</li> <li>➤ 作成した事業の一覧をもとに、情報事業・広報事業をカテゴライズし、男女共同参画センター・女性センターの情報事業・広報事業全体を把握するマップを作成 ファシリテーター／谷直子(秋田県中央男女共同参画センター)、桜井陽子</li> <li>● <b>講義2 (16:40～17:30)</b> 参加者数：19名 男女共同参画センターの広報を考える～紙媒体を中心に</li> <li>➤ 各センターで発行される情報紙・誌を事例に、魅力的な誌面企画、スマホ時代の紙媒体の役割・意義を検討 講師／加藤志生子(仙台市男女共同参画推進センターエル・パーク仙台館長)</li> <li>● 館内案内 (17:40～17:55)</li> <li>● 情報交換会 (18:15～20:15)</li> <li><b>【2日目】</b></li> <li>● <b>講義3 (10:00～11:00)</b> 参加者数：20名 SNS活用の現状と課題</li> <li>➤ Twitter、Facebook、HPなどの活用法とその成果、課題を把握 講師／石見明子(世田谷区男女共同参画センターらぶらす 専門職員)</li> <li>● <b>講義4 (11:00～12:00)</b> 参加者数：19名 NWEC活用法</li> <li>➤ 各地の男女共同参画センターが活用できるNWECの情報関連サービスを徹底紹介 講師／森未知(独立行政法人国立女性教育会館 情報課専門職員)</li> <li>● <b>ワークショップ2 (13:00～13:30)</b> 参加者数：19名 情報事業・広報事業マップの全体発表と意見交換(グループワーク)</li> <li>➤ ワークショップ1で作成した各グループの情報事業・広報事業マップを全体発表し、全員で意見交換 ファシリテーター／谷直子、桜井陽子</li> <li>● <b>ワークショップ3 (13:30～14:30)</b> 参加者数：19名 情報事業・広報事業の再構築(個人ワーク)</li> <li>➤ これまでの講義・ワークショップを踏まえ、自センターの情報事業・広報事業をセンター全体の事業、地域の社会資源との連携・協働の観点から再構築し、自センターの次年度情報事業・広報事業の事業計画を作成 ファシリテーター／谷直子、桜井陽子</li> <li>● <b>意見交換 (14:30～15:00)</b> 参加者数：20名 男女共同参画センター・女性センターにおける今後の情報事業・広報事業 ファシリテーター／桜井陽子</li> </ul>
--	--

アンケート結果の概要	<p>別紙参照</p> <p>全国女性会館協議会 2019年度地域研究事業 情報事業・広報事業担当者のための課題解決・実践研修（秋田県中央男女共同参画センター）アンケート</p>
担当者所感	<p>当センターでは、「広報事業の配信のマンネリ化を解消させ、限られた予算で効果的な事業を行いたい」を応募の理由にあげ、「情報事業・広報事業担当者のための課題解決実践研修」に選考された。参加者は目標定員には満たなかったものの、全国各地の男女共同参画センターから申し込みがあり、情報事業・広報事業における今後の展開の具体策を見出す実践的な研修を行うことができた。</p> <p>研修のプログラムにそって具体的に研修を振り返る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 今年度初めてになる情報事業、広報事業の定義が理解できた。講義1では、男女共同参画センターの基本的構造から、情報事業と広報事業のそれぞれの定義を説明してもらった。個人ワークでは、情報事業と広報事業に分けて棚卸しをした。この作業からそれぞれの定義の理解につながった。</li> <li>② 事業に対する自己評価の大切さが意識できた。情報事業・広報事業の棚卸しの作業をすることで、自センターの現状を改めて確認できた。それと共に、棚卸しの自己評価は、来年度の目標を決めていくプロセスの大切な過程であることが認識できた。</li> <li>③ 情報事業、広報事業の関係性を意識しながらグループ内全体の事業を把握できた。他センターと自センターの事業の違いや、情報事業、広報事業の関係性をマップづくりで確認できた。しかし、マップ作成の目的の説明や情報事業、広報事業の関係性の説明、作業の仕方についてファシリテーターからの説明が不十分だったと反省している。事例をあげて丁寧な説明があれば、もっとスムーズな作業ができたと思う。</li> <li>④ 限られた予算で効果的な事業を行えるヒントを得ることができた。3つの講義では、各講師から、そのテーマに即した分かりやすい丁寧な資料を提示してもらい、現状と予算をかけずにいかに情報を収集、提供できるかのヒントをもらうことができた。</li> <li>⑤ 次年度の情報事業・広報事業の再構築するためのヒントが得られた。グループごとに作成したマップ発表では、1グループの発表が終わった都度、講師から講評をもらった。講師からの講評は予定外だったので、次の個人ワークの時間が削られた。しかし、結果的に来年度の計画案づくりにはプラスに働き、とてもよかった。</li> <li>⑥ 来年度の情報事業、広報事業の具体策を宣言できた。最後に来年の情報事業・広報事業の計画案と研修の感想を参加者がそれぞれ発表し、2日間の研修を終了した。</li> </ol> <p>当センターでは、この研修で、講師や他センターから予算をかけずに効果的な情報事業・広報事業を行えるヒントを得た。参加したスタッフの考えを確認し、情報事業・広報事業の再構築の推進に努めたい。また、アンケート集計から参加者にとっても展開の具体策を見出す実践的な研修になったと思われる。</p>